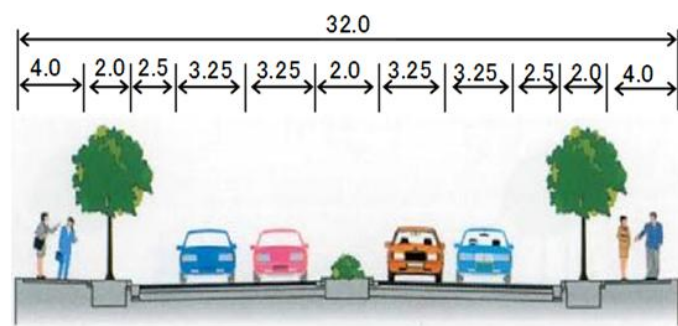


20 胡屋泡瀬線【沖縄市上地～大里】



胡屋泡瀬線は、沖縄市の中心市街地と東部地域を結び、国道330号、国道329号等の主要幹線道路と接続する重要な道路で、交通量が多く慢性的な交通渋滞を生じているため、4車線による整備が必要となっております。

本街路は、中部圏域の交通渋滞の解消と市街地再開発事業と連携した中心市街地活性化に資する道路として整備を行います。



道路規格	設計速度	全体計画		着手年度
		延長	幅員	
4種1級	50km/h	3.1km	32m	H17

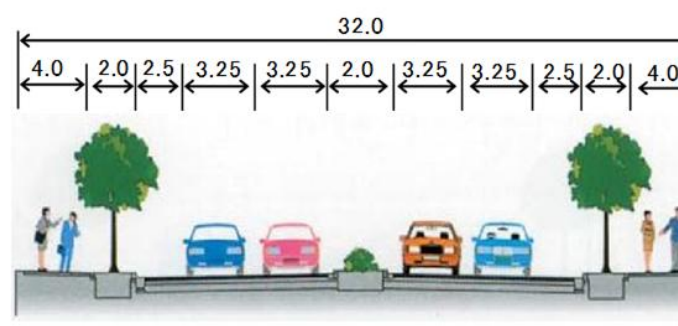
24 県道24号線バイパス【北谷町桑江～吉原】



現道の県道24号線は北谷町中心部から沖縄市を連結する幹線道路ですが、北谷町側の道路は起伏が激しく蛇行しており、交通量が多い上に歩車道の区別がなく、交通安全上課題が多い路線です。

そこで、増加し続ける交通量に対応するため、国道58号の北谷町役場入口交差点と沖縄市山里の沖縄環状線を結ぶ3.12kmの県道24号線バイパスが都市計画決定され、そのうち北谷町側の1.72kmを街路事業で整備します。

本街路を整備することにより、中部圏域における機能的な交通網を確立するとともに、交通渋滞を緩和し、安全で快適な道路空間の形成を図ります。



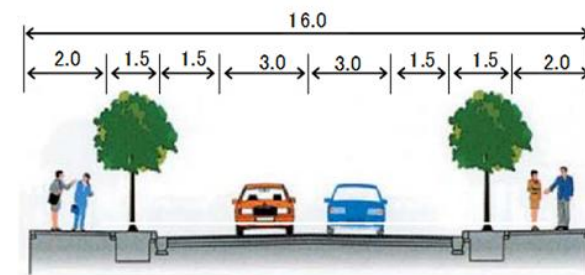
道路規格	設計速度	全体計画		着手年度
		延長	幅員	
4種1級	50km/h	1.72km	32m	H15

251 パイプライン線【浦添市伊祖～宜野湾市嘉数】



パイプライン線は、沿道に小学校が立地し、通学路となっているにもかかわらず、狭隘であり歩道と車道の区別がなく、縦断勾配も起伏が激しいことから、児童をはじめ歩行者及び自動車交通の安全上支障を来しております。

当該道路の整備により、市街地における機能的な道路網を形成し、慢性的な交通渋滞を緩和して那覇市と中部都市圏とのアクセス性を向上させるとともに安全で快適な歩行空間、ゆとりある都市空間の形成を図ります。



道路規格	設計速度	全体計画		着手年度
		延長	幅員	
4種2級	40km/h	1.83km	16m	H14

38 城間前田線【浦添市安波茶～前田】



↑安波茶交差点 完成予想図（イメージ図）

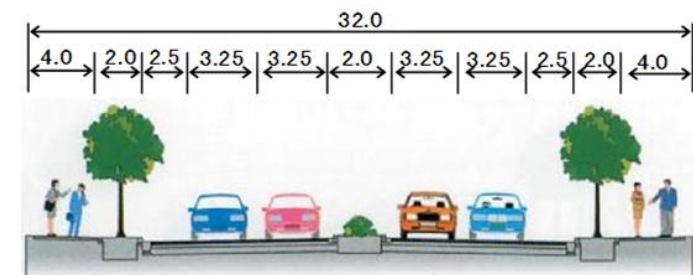


当該路線は、浦添市と西原町を東西方向に横断する幹線道路であり、国道58号、330号、329号等の縦軸幹線を相互に連結する主要な横軸幹線道路として位置づけられております。

今回の計画道路である大平から前田については、現況交通量が2車線で処理できる交通量の2倍以上となっています。更に将来推計交通量は増加することから、4車線化の整備が必要となっております。

当該道路の沿線には、浦添警察署、浦添大公園、浦添小中学校、浦添市役所、浦添美術館などが立地しており、浦添市策定の都市計画マスタープランに浦添都市軸、シンボルロード地区として位置づけられていることから、市の中心・拠点となる社会資本基盤整備が必要であります。

また、整備が進められているモレール延伸事業と接続しており、広域交通として浦添市と那覇市を結ぶ交通の要所となることから、早急な整備が必要となっております。



道路規格	設計速度	全体計画		着手年度
		延長	幅員	
4種1級	50km/h	1.5km	32～34m	H23

公園

都市公園は、まちの中の緑のオアシスとして、スポーツ・レクリエーションの場として私たちの生活を豊かなものにし、また、緑化や緑地の保全、災害時の避難場所を提供することなどの役割を有しております。
人々が安心して快適に暮らせるまちづくりのために、都市公園の整備を進めております。

公園位置図・整備状況等

令和8年度の主な整備内容

浦添大公園…憩いの広場ゾーンにおける落石対策等

中城公園…歴史学習エリアにおいて、今後整備される計画施設の利用に対応したアクセス園路の整備等

沖縄県総合運動公園…みどりの架け橋における連絡橋補修工事等



浦添大公園



中城公園



沖縄県総合運動公園

浦添大公園



- 位置／浦添市当山、伊祖、仲間
- 種別／総合公園
- 計画面積／37.4ha
- 施設概要／浦添城跡、林間园路、遊具広場、休憩舎、展望台、駐車場



浦添大公園は、浦添市の中央丘陵地に位置し都市近郊地域では、数少ない自然景観を有する総合公園です。
浦添城跡や浦添ようどれを中心とした史跡公園、地域住民のレクリエーション利用のためのピクニック園地、さらに中南部の連担市街地における拠点的な都市環境緑地としての整備を図っております。

中城公園



- 位置／北中城村(大城・萩堂)・中城村(添石・伊舎堂・登又・泊・久場)
- 種別／広域公園
- 計画面積／98.8ha
- 施設概要／中城城跡、遊具広場、園路、駐車場、キャンプ場、ゲートボール場

中城公園は、中城村、北中城村の両村にまたがり、歴史的、文化的環境を保持し、東に太平洋、西に東シナ海を臨む景勝の地です。

本公園の中心をなす中城城跡は去る大戦の戦禍をまぬがれた貴重な文化遺産であり、昭和47年に国の史跡に指定され、平成12年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」のひとつとして世界遺産に登録されております。

このような特性を生かし、中城城跡を核とした沖縄の歴史、文化、自然を積極的に体験、学習できる公園として整備を進めております。



沖縄県総合運動公園



- 位置／沖縄市比屋根・北中城村渡口
- 種別／広域公園
- 計画面積／70.4ha(沖縄市47.7ha 北中城村22.7ha)
- 施設概要／陸上競技場、サッカーラグビー場、テニスコート、水泳プール、体育館、修景池、管理事務所、レストハウス、オートキャンプ場、多目的広場、レクリエーションドーム、冒険広場、森の遊園地、サイクルセンター、駐車場、レクリエーションプール

1万席以上の観客席を持つJ2規格サッカー場に改修した陸上競技場



沖縄県総合運動公園は、昭和62年に開催された第42回国民体育大会(海邦国体)の主会場として計画され、スポーツゾーン、海浜ゾーン、森と水のゾーンで構成された、週末型屋外レクリエーション需要に対応できる公園です。

日本陸上競技連盟公認の陸上競技場などの多くの運動競技施設を備え、海洋性亜熱帯気候の「緑」と「太陽」が享受でき、年間を通じて県民の憩いの場となるような公園の整備を基本方針としております。